

令和3年第3回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

表 題	令和3年第3回(9月)定例会 一般質問通告書について																																																									
内 容	<p>9月17日(金)から行われる、令和3年第3回(9月)定例会における一般質問について、25人の議員から通告書の提出がありました。</p> <p>各日の質問予定者氏名、順番、内容は以下のとおりです。</p> <p>なお、各日の質問予定者は、変更になる場合があります。</p> <p>●各日の質問予定者</p> <table border="1" data-bbox="424 595 1126 1877"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>順番</th> <th>氏名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">9月17日 (金)</td> <td>1</td> <td>牧田 正樹</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>橋本 洋一</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>杉田 勝典</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>こんどう 彰治</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>江口 修一</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>丸山 章</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">9月21日 (火)</td> <td>7</td> <td>武藤 正信</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>石田 裕一</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>高橋 浩輔</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ストラットン 恵美子</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>山田 忠晴</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>小林 和孝</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>本山 正人</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">9月22日 (水)</td> <td>14</td> <td>宮崎 朋子</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>上野 公悦</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>栗田 英明</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>中土井 かおる</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>高山 ゆう子</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>安田 佳世</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">9月24日 (金)</td> <td>20</td> <td>鈴木 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>平良木 哲也</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>渡邊 隆</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>橋爪 法一</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>滝沢 一成</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>宮越 馨</td> </tr> </tbody> </table>	日	順番	氏名	9月17日 (金)	1	牧田 正樹	2	橋本 洋一	3	杉田 勝典	4	こんどう 彰治	5	江口 修一	6	丸山 章	9月21日 (火)	7	武藤 正信	8	石田 裕一	9	高橋 浩輔	10	ストラットン 恵美子	11	山田 忠晴	12	小林 和孝	13	本山 正人	9月22日 (水)	14	宮崎 朋子	15	上野 公悦	16	栗田 英明	17	中土井 かおる	18	高山 ゆう子	19	安田 佳世	9月24日 (金)	20	鈴木 めぐみ	21	平良木 哲也	22	渡邊 隆	23	橋爪 法一	24	滝沢 一成	25	宮越 馨
日	順番	氏名																																																								
9月17日 (金)	1	牧田 正樹																																																								
	2	橋本 洋一																																																								
	3	杉田 勝典																																																								
	4	こんどう 彰治																																																								
	5	江口 修一																																																								
	6	丸山 章																																																								
9月21日 (火)	7	武藤 正信																																																								
	8	石田 裕一																																																								
	9	高橋 浩輔																																																								
	10	ストラットン 恵美子																																																								
	11	山田 忠晴																																																								
	12	小林 和孝																																																								
	13	本山 正人																																																								
9月22日 (水)	14	宮崎 朋子																																																								
	15	上野 公悦																																																								
	16	栗田 英明																																																								
	17	中土井 かおる																																																								
	18	高山 ゆう子																																																								
	19	安田 佳世																																																								
9月24日 (金)	20	鈴木 めぐみ																																																								
	21	平良木 哲也																																																								
	22	渡邊 隆																																																								
	23	橋爪 法一																																																								
	24	滝沢 一成																																																								
	25	宮越 馨																																																								

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
1	
12 番 牧 田 正 樹	<p>1. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について</p> <p>(1) 現在のワクチンの接種状況はどうか。</p> <p>(2) 健康被害の救済機関である上越地域予防接種健康被害調査委員会への請求件数と支給決定の状況はどうか。</p> <p>(3) ワクチン接種の有無により、差別的な言動が見受けられる。市としてさらに、差別が起きないように広く市民に周知すべきと思うがどうか。</p> <p>2. 非正規労働者の労働条件の改善について</p> <p>(1) 今年度の最低賃金について、本県では28円引上げとなり、時間当たり859円となった。このことについての市長の受け止めはどうか。</p> <p>(2) コロナ禍における最低賃金の引上げは、特に中小零細企業における経営が更に厳しくなると予想される。市として何らかの支援を考えているのか。</p> <p>(3) 市内企業の賃金水準は決して高くない。企業への定着、労働者の確保の観点から、中小零細企業が最低賃金に上乗せして賃金を引き上げた場合に支援する考えはないか。</p> <p>(4) 民間企業の非正規労働者の賃金水準引上げに向け、市が率先して行うべきと考える。公契約条例を制定する考えはないか。</p> <p>(5) 市職員について、同一労働同一賃金の観点から職務内容によっては、会計年度任用職員を正規職員に切り替えていくことは考えていないか。</p> <p>3. 性同一性障害や性的指向を理由とする偏見や差別の解消について</p> <p>(1) 市は現在、「第4次人権総合計画」により差別解消などに取り組んでいるが、特に性同一性障害や性的指向を理由とする偏見や差別について、現状とそれに対する取組状況について聞きたい。</p> <p>(2) 全国の自治体では「パートナーシップ制度」の導入が進んできているが、当市に導入する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
2	
15 番 橋 本 洋 一	<p>1. 残土搬入問題について</p> <p>(1) 板倉区内に県外から残土が搬入され、産業廃棄物の混入や搬入残土の管理などを心配する住民から不安の声が上がっている。市の認識と対応方針について聞きたい。</p> <p>2. 通学路の安全対策について</p> <p>(1) 千葉県八街市の児童死傷交通事故を受けて、全国的に通学路の総点検と安全対策の拡充・強化が指示されたとのことであるが、当市の現状と対策について聞きたい。</p> <p>3. 学校の防災対策について</p> <p>(1) 浸水想定区域や土砂災害警戒区域に立地している公立学校の実態について、文部科学省から調査結果が公表されたが、当市の現状と学校の防災対策について聞きたい。</p> <p>4. 遠隔監視通報システムを活用した防災・減災対策について</p> <p>(1) 春日山アンダーパスをはじめ、浸水想定区域内にあるアンダーパスの防災・減災対策の現状はどうか。また、市民の生活と交通の安全を確保するために遠隔監視通報システムを活用した防災・減災対策が効果的と考えるが、どうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
3	
26 番 杉 田 勝 典	<p>1. デジタル技術活用の行政サービスや事業者におけるデジタル化の推進について</p> <p>(1) 申請主義の弊害解消に向け、デジタル技術を活用した「プッシュ型行政サービス」を推進するため、特に申請を忘れるリスクの高い行政情報に関し、公式アカウントのLINE等で通知する「プッシュ型行政サービス」におけるシステム構築の現状と今後の課題について聞きたい。</p> <p>(2) 事業者が業務のテレワーク化やデジタル化を促進するため、市内中小事業者等を対象に、ソフトウェアの導入やショッピングサイトの開設等にかかる費用の一部を助成する「ソフトウェア導入等支援補助金」(費用の3分の1)を検討してはどうか。</p> <p>2. 休耕田におけるヨモギ等の栽培について</p> <p>(1) JAえちご上越が、今年度から中山間地域の休耕田においてヨモギの試験栽培を開始している。このような取組は、中山間地域における農地の荒廃防止や農業者の所得確保につながるものと期待しているが、ヨモギやカンゾウなどの薬用作物の栽培についての可能性をどのように考えているか聞きたい。</p> <p>3. 静岡県熱海市で発生した「盛り土」による土石流災害を受けて</p> <p>(1) 熱海市で発生した土石流災害を受け、新潟県では県内で土石流の発生リスクが高い警戒区域に新たな盛り土や崩壊などがないか確認する緊急点検を行ったが、市内の点検状況と現時点での盛り土の危険性等についての認識はどうか。</p> <p>4. コロナ禍等によるこころの不調の早期発見について</p> <p>(1) 4月に開設されたうつ症状の自己チェックができるサイト「KOKOROBO(ココロボ)」を、当市でも普及してはどうか。また、こころの健康の取組状況はどうか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
4	<p>1. 異常気象による豪雨災害対応などについて</p>
30 番 こ ん ど う 彰 治	<p>(1) 地球温暖化が一因の異常気象により世界各国で各種の災害が発生しており、日本においても例外ではない。災害対応などについて、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 静岡県熱海市において7月3日午前に発生した大規模な土石流で甚大なる被害が確認された。この土石流は、降雨とともに山間上部の盛り土崩落が大きな要因となり、甚大な災害になったと報じられていた。この災害を受け、当県でも県内土砂災害警戒区域の緊急点検が行われたが、当市においてはどのような状況か聞きたい。</p> <p>イ 当市の宅地造成工事における大規模盛土造成の状況はどうか。また、今後、急傾斜地などの大規模盛土による宅地造成工事が実施される場合の安全性について市民の関心が高まると思われるが、現在の許認可制度の状況について聞きたい。</p> <p>ウ 今年は特に異常気象により前線停滞が長引き、豪雨による災害が頻繁に見受けられた。このことから、各地の自治体においては、ハザードマップの見直しが検討されている。当市においても数々のハザードマップがあるが、見直しなど検討されるのか聞きたい。</p> <p>エ 豪雨対策としてのインフラ整備も急を要する。長期にわたり整備が計画されていると思うが、優先順位も含めて考えを聞きたい。</p> <p>2. 交通安全対策について</p> <p>(1) 千葉県八街市で6月末、下校中の小学生の列に飲酒運転の大型トラックが突っ込み、5人が死傷する事故が起きた。この事故を受けた当市の対応について以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 当市においても危険通学路が点在していると思うが、この事故を受け、市内における通学路の点検はどのように行われ、結果はどのようになり、どのように改善していくのか聞きたい。</p> <p>イ この事故では加害者が飲酒運転と断定された。市として交通安全の観点から、事業者等にどのような指導や啓発を行ったのか。</p> <p>(2) 10月下旬に公表予定の「第11次上越市交通安全計画」の策定に当たり、年間の交通事故死者数及び交通事故重傷者数の目標数をどのような根拠で決定したのか聞きたい。</p> <p>3. ふるさと納税について</p> <p>(1) ふるさと納税の返礼品については、これまでも多くの議員が質問してきたが、市長は一貫して「寄附をしてふるさとを応援する篤志の制度」と答弁してきた。市長の考えも一理あると思うが、上越の産品をPRする絶好の機会と捉え、より積極的に活用する考えはないか、改めて市長の考えを聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	
27 番 江 口 修 一	<p>1. 「なおえつうみまちアート」について</p> <p>(1) なおえつうみまちアートのテーマに「人が変われば街が変わり、街が変われば人が変わる」とあるが、市民参画や市民の声を現在どのように得られたと感じているか。</p> <p>(2) 未来へ何を残そうとしているのか、今後どのように直江津を変えていこうとしているのか考えを聞きたい。</p> <p>2. 「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の推進について</p> <p>(1) 総務省が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」の趣旨をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 上越市は、地方分権改革の進展で業務量の増加や業務難易度の上昇の中、行政改革の推進で職員数の削減努力をし続けてきたが、自治体DXの推進による業務改革を更に進め、職員数を減らす考えはないか。</p> <p>3. 佐渡観光と小木直江津航路維持に向けた取組について</p> <p>(1) 佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた進捗状況をどう把握しているか。</p> <p>(2) 小木直江津航路の維持のためには、佐渡への観光誘客が重要である。上越市と佐渡市の広域観光連携をどのように進めていくのか。</p> <p>(3) 小木直江津航路の必要性についての市の考えを聞きたい。</p> <p>(4) 小木直江津航路におけるジェットfoil変更後の年間計画人数に対し輸送実績見込み人数が3割にしか満たない。同航路における赤字額はどれくらいになるのか。</p> <p>(5) 上限を2億4,000万円とする佐渡汽船株式会社に対する補助金は、同社の12月決算報告後に執行すべきではないか。</p> <p>(6) 佐渡汽船株式会社は債務超過解消に向けて第三者出資等による資本増強に取り組むとしているが、いつ出資するのか。また、その資本増強でこの先両航路は守られるという確証はあるのか。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
6	<p>1. 買物弱者対策について</p>
13 番 丸 山 章	<p>(1) 中山間地域はもとより、中心市街地等でも高齢者世帯が増加している上、運転免許証の返納が買物弱者の増加に拍車をかけている。官民を問わず、現状の買物弱者への対応策と課題の把握・分析状況を聞きたい。また、買物弱者対策として、買物代行サービス、共同受注配送事業等を各種団体(まちづくり振興会等)に業務委託するなどし、高齢者世帯が安心して生活できる支援策が必要と考えるが、今後、どのようにして買物弱者が安心して生活できる環境を整えていこうとしているのか聞きたい。</p> <p>2. 村山市政12年間の評価と今後の市政について</p> <p>(1) 市長は、最初の市長選に立候補する際の公約で、市政運営の軸として、「市民がど真ん中」を中心に据え、「3つの約束」「10項目の決意」に分けた政策(マニフェスト)を発表した。については、政策(マニフェスト)に掲げた下記の「3つの約束」の総合評価と10項目の個別ごとの主な項目に対する分析評価(達成度、反省点・課題として残ったもの、改善点)について聞きたい。</p> <p>ア 人が輝く「住み続けたい・選ばれる」まちづくり</p> <p>①子育ていちばんはこの街で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校卒業までの医療費無料化について ・通園、通学バス利用者負担の無料化について <p>②おもいやりの医療と福祉はこの街で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上の医療費負担軽減と高齢者介護施設の拡充について ・地域医療センター病院の医療体制整備について <p>③ゆとりと個性の教育はこの街で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助教員拡充でゆとりのある教育について ・県と力を合わせた養護学校高等部の拡充と高等養護学校の創設の実現について <p>イ 地域再生と「新・価値」の創造による産業基盤づくり</p> <p>④地域産業の進化と雇用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際物流機能をもつ直江津港の利用促進と新規の外国貿易航路開設について ・企業誘致の積極的推進と安定雇用の促進について <p>⑤新幹線開業をいかしたまちづくりと観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の夢「新・水族博物館」の建設について ・上越市おもてなしの心「道の駅・大型食物産センター」(仮称)の建設構想の着手について ・越後田舎体験事業など、地域資源を活かした通年型・周遊型観光の推進の取組について <p>⑥雪対策と生活しやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・儀明川ダム建設に伴う高田市街地の流雪溝の整備について

令和3年第3回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生活の足を確保するための並行在来線をいかした公共交通ネットワークについて ⑦地域力による「新・価値」の創造 <ul style="list-style-type: none"> ・高田地区の厚生産業会館(仮称)の建設について ・中心市街地をよみがえらせる都市再生と、地域中心商店街の復活の取組について ⑧上越ブランドの農林水産業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・上越ブランドの高品質良食味米、伝統野菜など付加価値の高い農産物を生産する複合営農体制の整備について ・地産地消の取組の推進による需要の安定化と販路拡大など、農林水産業の振興について <p>ウ 新しい公共により進化するまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑨「市民がど真ん中」の上越市 <ul style="list-style-type: none"> ・地域自治区に地域活動資金(市税の1%約2億円)と権限を委譲した、地域の自主活動の支援について ・市民の総意でもてなすガイド・インストラクターの養成について ⑩市民サービスを守る行財政改革 <ul style="list-style-type: none"> ・行政組織の抜本の見直しによる親切・迅速・活力ある市役所について ・民間活力の活用や施設の統廃合による行政の効率化、スリム化について <p>(2) 12年間の市政運営でやり残したこと、今後の市政に期待することは何か聞きたい。</p>
<p>順位 議席 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>7</p>	
<p>28 番 武 藤 正 信</p>	<p>1. 米価下落に対する市の対応について</p> <p>(1) 報道によると、えちご上越農業協同組合は、令和3年度のコシヒカリの仮渡金を前年比1,700円減とすることが分かった。農業は上越市の大きな基幹産業であり、経済に及ぼす影響は大きいと思うが、この状況をどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 大規模農業が増えている中で、大規模農家又は生産組合が米価下落により大きな打撃を受ける。また、離農する農家も増えることが予想される。このような中、市では来年度に向けてその対策をどう考えているか。</p> <p>(3) 中山間地域においては、先に述べたことが顕著に表れ、水田の荒廃も想定されるが、その対策を聞きたい。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種について</p> <p>(1) 学校では集団活動が基本となることから、クラスターが発生する可能性が大きいと思うが、小中学校ではどのような対策を行っているか。</p> <p>(2) ワクチン接種による副反応について、現時点で把握している状況を聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席氏名	
8	<p>1. 村山市政12年について</p>
18番 石田裕一	<p>(1) 村山市長は財政健全化の取組をこの12年間着実に進めてきた。その成果をどのように評価しているか聞きたい。また、今後もまだ多くの課題がある上越市において、村山市長が第6次総合計画に掲げている「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」を目指していく上で重要だと思うことを聞きたい。</p> <p>2. 公の施設のインターネット環境整備について</p> <p>(1) 現在、多くの市民団体はコロナ禍において、市外への研修参加や講師を招いての研修を控え、リモートによるオンライン研修を実施している。その際、なかなかインターネットにつながらない施設も多いと聞いているが、市の公の施設におけるインターネット環境整備の現状と、今後も更に環境整備を促進する考えはあるか聞きたい。</p>
順位	質 問 事 項
議席氏名	
9	<p>1. 強度行動障害のある方とご家族への支援について</p>
5番 高橋浩輔	<p>(1) 市では、現在、強度行動障害のある方の人数を何人と把握しているか聞きたい。</p> <p>(2) 強度行動障害のある方の支援を充実させるためには、専門的な知識やスキルを持つ人材の育成が不可欠であることは言うまでもない。上越市における強度行動障害支援者研修をはじめとする人材育成の取組状況はどうか聞きたい。</p> <p>(3) ご家族が常に抱えておられる大きな心配の一つに「緊急時の受入れ」がある。強度行動障害のある方の緊急時受入れ体制の現状と課題を聞きたい。</p> <p>(4) 近い将来を見据え、強度行動障害に特化したグループホームの整備は必須であると思うが、市の考えを聞きたい。</p> <p>(5) 当市においても地域生活支援拠点等の整備が進められているが、それを十分に機能させるための取組や課題があれば聞きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
10	
4 番 ス ト ラ ッ ト ン 恵 美 子	<p>1. 公の施設について</p> <p>(1) 「第4次上越市公の施設の適正配置計画」が令和3年2月に策定され、令和3年度において、廃止、貸付又は譲渡される施設や引き続き協議される施設があるが、その進捗状況を聞きたい。</p> <p>(2) 施設の老朽化に伴う改修、また、活性化となるイベント実施など、今後、一般財源だけでまかなうのが難しくなると考えるが、例えば上越市と指定管理者の協働でクラウドファンディング等による手法も積極的に取り入れてはどうか。</p> <p>2. 地域包括支援センターの運営体制について</p> <p>(1) 地域包括支援センターにおける、拠点、サテライトの人員体制について、十分なのか、市の見解を聞きたい。</p> <p>(2) 統一化したICTシステムを構築し、その管理下で市が各センターを運営することは、業務の効率化を図る上でも大きなサポートになると考えるがどうか。</p> <p>3. 多言語による上越市の歴史上の人物や近代を拓いた先人たちを紹介する取組について</p> <p>(1) 多言語による上越市の歴史上の人物や近代を拓いた先人たちを紹介する取組は、海外向けの観光アピールに利用できるのではないか。</p> <p>(2) また、小中学校の教育教材とすることで、子どもたちの郷土愛の育成や国際力の向上のほか、英語言語の習得につながると考えるがどうか。</p> <p>4. 外国人市民が安心して暮らせる環境整備について</p> <p>(1) コロナ禍による影響や昨冬の豪雪をはじめとする自然災害が多い中、市ではオンライン相談の体制整備により、外国人市民が相談しやすい環境を整えたとしているが、外国人相談の利用状況や相談にどのように対応しているか聞きたい。</p> <p>(2) 多言語配信アプリの導入により、10か国語で広報上越等が閲覧可能になったが、利用状況はどうか。</p> <p>(3) 「やさしい日本語」は、外国人市民と地域住民とをつなぐコミュニケーションツールであり、医療や防災面からも重要な役割を担っていくと考えるが、市として今後どのように啓発していくか聞きたい。</p>

令和3年第3回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
11	<p>1. 小中学校の2学期制について</p> <p>(1) 当市の小中学校の義務教育課程における2学期制導入について、教育委員会の考えとメリット・デメリットを聞きたい。</p> <p>(2) 県内でも2学期制を導入している自治体がある。教育委員会における2学期制導入に向けた取組実績を聞きたい。</p> <p>(3) 教育委員会において、教育現場の教職員から、2学期制についての意見をどのように吸い上げているか。</p> <p>(4) 今後、2学期制についての調査研究や保護者及び地域の声を聞くなど、制度導入を検討する考えはないか。</p> <p>2. 乳幼児の聴覚・視力検査の充実について</p> <p>(1) 生後6か月までの乳児に対する新生児聴覚検査費用の一部助成について、妊娠の届出時に助成券として配布し、子育て支援をより一層充実させる考えはないか。</p> <p>(2) 3歳児健診の視力検査の精度を向上し、子どもの弱視の早期発見を図るため、持ち運びできる小型サイズの弱視検査機器を導入する考えはないか。</p>
11番 山田忠晴	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
12	<p>1. 脱炭素社会について</p> <p>(1) 市では、国が2050年温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすると表明し、地球温暖化対策の推進に関する法律や地球温暖化対策計画の見直しなどの内容を見定めながら、令和4年度に策定する次期上越市地球温暖化対策実行計画において対応している。当市における温室効果ガス削減目標として、2022年度までに2012年度比で14%削減すると設定しており、目標は達成できる見通しとしている。この短期目標は、長期目標50%削減の達成のための条件として設定されており、国は、2050年目標との整合性で、2030年度の野心的な目標として46%削減を目指すとしているが、市としてどう捉えているか。</p> <p>(2) 「ゼロカーボンシティ」を宣言し、市民の意識高揚を図り、脱炭素都市へのスタートとする考えはないか。</p> <p>(3) 上越市再生可能エネルギー導入計画は、平成26年3月に策定され、対象期間が平成26年度から令和2年度までとされていたが、実績を聞きたい。</p> <p>(4) 当市における雪冷房設備設置の可能性についての考えを聞きたい。</p>
19番 小林和孝	

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
13	<p>1. ウッドショックがもたらす経済対策について</p>	
14番 本山正人	<p>(1) 世界的規模で新型コロナウイルス感染症の影響が続く現在、「ウッドショック」という言葉が不動産業・建築業・土木業界で突如として聞こえてくるようになった。木材価格の高騰や品不足が起こっている状況を受け、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 輸入材から地域産材へのシフトなど、事業継続や新たな事業に取り組む市内製材加工業者を支援することを目的とした「ウッドショック対策臨時交付金」を創設する考えはないか聞きたい。</p> <p>イ 森林経営管理制度をいかし、市内における人工林整備の強化を進める考えはあるか聞きたい。</p> <p>ウ ウッドショックを機に林業従事者の後継者育成に対し支援を強化する考えはあるか。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
14	<p>1. コロナ禍における消費動向について</p>	
6番 宮崎朋子	<p>(1) コロナ禍前と比べ、消費動向はどのように変化しているか。また、当市の特徴があれば聞きたい。</p> <p>(2) 長引くコロナ禍で、今後、消費が落ち込むことも予想される。それにより市の消費税収入(地方消費税交付金)が減ることが懸念されるが、市としてどう捉えているか。</p> <p>2. 上越市中心市街地活性化プログラムと今後の展望について</p> <p>(1) 上越市消費動向調査(令和元年8月)で、浮き彫りになった課題は何か。また、それに対しどう取り組んできたか聞きたい。</p> <p>(2) 第3期中心市街地活性化プログラム(令和2年度～令和4年度)について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 事業を実施する上で、コロナ禍の影響や支障はどのくらいあるか。</p> <p>イ 今後、市民との協働がますます必要と考える。市が、市民に対し理解や協力を一層求めることは何か聞きたい。</p> <p>(3) 中心市街地を考える上で、特に商店街は重要と考えるが、その在り方や役割は変化し、多様化していくと考える。それについて市としてはどのように捉えて、取り組んでいくか聞きたい。</p>	

順位	
議席氏名	質 問 事 項
15	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大下における市民の暮らし・市内経済を守るための思い切った対策について</p>
29番 上野公悦	<p>(1) 財政調整基金の役割をどう考えるか。特に非常事態時の活用についてどのように位置付けているか、改めて聞きたい。</p> <p>(2) 今こそ財政調整基金の思い切った活用と各種事業の剰余金の活用で、市民の暮らし、市内経済を守る最大の手当てを行うべきではないか。そのために、コロナ禍で深刻な打撃を受けている小規模事業者に対する「持続化給付金」や市民に対する「定額給付金」などの市独自の支援施策を強く求めるがどうか。</p> <p>(3) 今年度の住宅リフォーム促進事業について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 前期分として7,500万円の事業予算が計上されたが、豪雪災害等により非常に多くの申請があり、その結果3分の2に当たる申請者が制度を利用できなかったと聞いている。申請状況、抽選状況はどうだったか。申請者からどんな声が上がっているか。市民の声に市ではどのように対応したか。</p> <p>イ 後期分は9月15日から受付が行われるが、わずか2,500万円の事業予算である。前期分で落選した申請者も多かったことから、大幅な補正予算での対応などを行うべきではないか。</p> <p>(4) 急速に進む人口減少やコロナ禍等によって上越市を走る2つの第三セクター鉄道が深刻な経営状況に追い込まれている。地域に不可欠な交通インフラをしっかりと守るために「えちごトキめき鉄道」と「北越急行」に公的支援が求められる。市長の考えを聞きたい。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
16	<p>1. 行財政改革について</p>
25番 栗田英明	<p>(1) 市長は財政健全化に全力を尽くしてこられたが、財政計画上は黒字転換を図れるところまではいけなかった。これは計画上、計算上難しいことだったのか。</p> <p>(2) 令和2年度決算では実質単年度収支で黒字になっているが、どう考えればいいのか。</p> <p>(3) 財政健全化に向けて行政改革は避けて通れないが、財政改革のために行政改革をするわけではないと考える。市長の目指す行政改革は実行できたのか。</p> <p>2. 将来都市像「すこやかなまち～人と地域が輝く上越」について</p> <p>(1) 人が輝く上越に向け、男女共同参画の視点を市の政策にどのように取り入れてきたか。</p> <p>(2) 地域が輝く上越に向け地域自治区などにより、それぞれの地域が地域特性をいかしたまちづくりをすることが求められている。その現状と課題について、どのように考えているか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
17	
8 番 中 土 井 か お る	<p>1. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて</p> <p>(1) 市は上越市障害者福祉計画において、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」を掲げ、取組を進めているところである。精神障害を有する方に対する市の取組について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 本市における精神障害者保健福祉手帳の現状を聞きたい。</p> <p>イ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に当たっては、保健・医療・福祉等の関係者が連携し、地域の課題を共有する「協議の場」の設置が必須事業であるが、本市における現状を聞きたい。</p> <p>ウ 精神障害を有する方の家族は、身近な友人等にも相談できずに悩みを抱え込んでいることが多い。気持ちを理解し合える家族会の役割は重要であり、精神障害を有する方の家族への周知が必要と考えるがどうか。</p> <p>2. 地域で生活する障害を有する方の災害時支援について</p> <p>(1) 精神障害を有する方は、災害時の緊迫する状況の中で、多くの人が集まる指定避難所での生活が困難な人も少なくないと思うが、指定避難所ではどのように対応できるか。また、通院している精神科医療機関等との連携による災害支援体制の整備を検討できないか。</p> <p>(2) 障害特性に応じた障害者のための防災マニュアル・避難所等での支援マニュアルの作成が必要と考えるが、関係者間で作成の検討ができないか。</p> <p>3. 学校に登校できない子どもへの支援について</p> <p>(1) 心身の不調等で登校が困難な子どもが増加していると感じる。本市における現状及び対応について聞きたい。</p> <p>(2) 令和3年4月から中学校の学習指導要領が改定され、表現力を求める評価が増えた。オンラインスクールや塾等が出席扱いとするために作成している、学習評価に必要な書類の取扱いに不都合はないか。</p> <p>(3) 市では、様々な理由で登校できない子どもが学びの機会を確保し、継続するための取組を進めていると思うが、多様な方法での教育の提供が必要と考える。本市においてオンライン授業を導入する考えはないか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
18	
7 番 高 山 ゆ う 子	<p>1. 学校内における生理用品の提供について</p> <p>(1) 現在、市内の学校では、子どもたちが生理用品を忘れた場合や、突然生理がきてしまった場合に備えて保健室に予備の生理用品を置いているが、学校によっては最近まで生理用品はナプキン1個も借りる扱いで、後日返却していたと聞く。その実態はどうか。また、子どもたちからは保健室にもらいに行くよりトイレに配備してほしい、との声も聞く。児童・生徒が学校にいても安心して使用できるよう予算措置を含め、生理用品の提供方法や配置場所の工夫が必要ではないか。</p> <p>2. 当市における男女共同参画推進について</p> <p>(1) 男女共同参画を推進する目的は、ジェンダーバイアス(社会でつくられた男女の役割分担)をなくし、市民の意識変革と向上を図ることだが、当市においては思うように進んでいないと感じる。市として、今後どのように意識改革に結びつく解決策を考えた事業を行っていくか、考えを聞きたい。</p> <p>(2) 当市としての男女共同参画推進に対する取組としてお聞きしたい。過去10年間における市役所内での職員の育児休業取得者はどのくらいか。そのうち男性職員の取得者はどのくらいか。また、取得促進に向けてどう取り組んできたのか。</p> <p>(3) 市内学校における先生に対するジェンダー教育はどの程度進んでいるのか。その上で子どもたちに対し、性差別や役割分担の意識を変えるための学ぶ機会をつくる必要があると思うがどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
19	<p>1. 上越市の魅力の創出と発信について</p>
1 番 安 田 佳 世	<p>(1) 農業分野について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 地産地消推進の店認定事業について、令和3年度は「プレミアム認定店」の新設が計画されているが、取組の状況はどうか。</p> <p>イ 地産地消推進の店の認定については、店舗数を増やすことだけではなく、地産地消の内容や質を重視することで、事業実施の価値が高まると考える。今後の事業の方向性をどのように考えているか。</p> <p>ウ 上越市には、上越野菜や雪室、棚田などの魅力的な要素がたくさんある。それらの農業分野の魅力をさらに発信し、上越市のPRにつなげていくことが必要だと考えるが、どうか。</p> <p>(2) 産業分野について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア メイド・イン上越推進事業について、新型コロナウイルス感染症による人々の意識や価値観の変化をチャンスとして捉え、市内外への周知により一層取り組んでいく必要があると考える。販売促進や普及の現状と今後の方向性をどのように考えているか。</p> <p>イ 上越市には、メイド・イン上越の対象にはならないが魅力的な産品が多くある。それらをブランド化し、上越市のPRや上越産品の販売促進につなげる必要があると考えるが、どうか。</p> <p>(3) 観光分野について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 令和3年度は、「上越市観光交流ビジョン」の実施2年目となるが、取組の状況はどうか。</p> <p>イ 観光による交流人口増加のためには、魅力的な観光資源を組み合わせることで滞在時間を延ばしたり、ポイントを絞った魅力を高める取組を行ったりすることが必要だと考える。観光に関する取組について、今後の方向性をどのように考えているか。</p> <p>(4) 上越市が観光地として「選ばれるまち」になるためには、各分野が連携をしながら、総合的に上越市としての魅力をつくり上げ、市内外に発信していく必要があると考える。上越市のブランディングと魅力の発信について、どのように考えているか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
20	<p>1. 子育て支援の促進について</p> <p>(1) 上越市子育てジョイカード事業について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 現在、子育てジョイカードの交付対象者は、18歳未満の子ども3人以上養育する保護者となっているが、独自の市民アンケートによれば、子ども1人目からの交付を強く要望する声がある。これらの市民の声を真摯に受け止め、市として事業の協賛店と改めて協議し、交付基準を緩和することで、子育て世帯への家計支援を推進すべきと考えるがどうか。また、交付対象者に、子どもの保護者等の父母が想定されており、1世帯につき2枚交付されているが、交付対象者に同居する祖父母等も追加して対象世帯への交付枚数を増やし、子育て世帯の経済的負担を少しでも軽減する必要があると考えるがどうか。</p> <p>イ 現行のように協賛企業の協力だけに依存する事業体制から脱却し、協賛企業でまかなえない部分については、市が補助金を交付することで、子育て支援対策の強化を図るべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 上越市子育てジョイカード事業は、人口減少及び少子化対策にもつながる重要な政策であるが、なぜこれまで当該協賛企業への補助を行ってこなかったのか考えを聞きたい。</p> <p>(2) こどもの日パスポートを年間を通じて使用できるようにして、子どもたちが学ぶ機会をより多く提供すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 子育て世帯の中には、離婚調停が進まず、実質的に何年もひとり親世帯となっている方が少なからずいるが、そのような世帯へも児童扶養手当等が支給されるよう支援基準を見直し緩和すべきと考えるがどうか。</p>
3 番 鈴 木 め ぐ み	<p>2. コロナ禍における市内の子どもの貧困対策の強化及びこども食堂等の啓発活動の推進について</p> <p>(1) コロナ禍が長期間継続し、更に県内でも特別警報が発令された状況であり、ひとり親世帯の貧困が加速し、これ以上看過できないほどの経済的困窮が拡大していることが指摘されている。また、現状はより深刻化し、ふたり親世帯においても世帯収入が減少して経済的に困窮し、食費などの生活費が削減されているという。市独自の特別給付金の早急な給付が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) NPO等の活動によって、市内のひとり親世帯や低所得の子育て世帯に対し、フードパントリーやこども食堂の取組が進められているところであるが、それらの支援を必要とされる世帯への支援情報が届いてない現状がある。市として児童扶養手当を給付されている世帯等へサービスの紹介をより図るべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) コロナ禍で運営難に陥っているこども食堂を支援するため、市は必要に応じ財政調整基金から支出、又は、クラウドファンディングの手法を用いて財源を集め、生活困窮世帯の子どもへ強力な支援をすべきと考えるがどうか。</p>

	<p>3. SDGsの目標となる食品ロス軽減に向けて</p> <p>(1) 他の自治体では、食品ロスを少しでも軽減するため、自動販売機で賞味期限の近い飲料等を安価に販売する取組がある。市でも公共施設にそうした自動販売機を設置することを通じて、食品ロスの啓発を推進し、世界的なSDGsの目標達成に向けて取り組む必要があると考えるがどうか。</p>
<p>順位 議席 氏名</p>	<p>質 問 事 項</p>
<p>21</p>	<p>1. 原子力災害時における実効性ある避難体制の構築について</p>
<p>20 番 平 良 木 哲 也</p>	<p>(1) 原子力災害時における避難行動について、複合災害への対応では「屋内退避」を基本としつつも、被害状況に応じた避難行動をとる」とし、新潟県原子力災害広域避難計画に関して「県の動向を注視していく」としている。このことを含め、上越市地域防災計画に定める避難体制について、次の点を聞きたい。</p> <p>ア 上越市地域防災計画には、原子力災害事前対策を定めているが、どの程度進捗しているか。</p> <p>イ 被害状況に応じた避難行動とは、具体的にどのような行動を想定しているか。また、そのためにどのような準備を行っているか。</p> <p>ウ 複合災害を想定した避難訓練はどのように行われているか。また、その実効性についてどのように評価しているか。</p> <p>エ 原子力災害時における避難行動については、屋内退避を基本としているが、複合災害時の屋内退避は危険性が高まるため、即時に避難すべきと思うが、どのように考えるか。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症対策の新たな局面とそれに対する市の施策について</p> <p>(1) 市内におけるお盆後の感染者の発生状況と、感染経路等について、どのように分析しているか。</p> <p>(2) 市内における新型コロナウイルス感染症医療の実態はどのようにになっているか。</p> <p>(3) この間、子どもの間の感染が拡大している。日常行動など子どもの特性に対応した感染防止策が必要であるが、その点をどのように捉え、どのような対策を講じているか。一般的な対策のみならず、どのような特別な対策を行っているか聞きたい。</p> <p>ア 保育園について</p> <p>イ 学校等について</p> <p>(4) 世帯内の介護者や保護者が感染した場合、在宅の被介護者や子どもは極めて困難な状況に置かれることになるが、そうした場合の支援はどのように行っていく考えか。</p> <p>(5) 市民が自主的に行うPCR検査等に対する費用の補助制度は、長岡市等をはじめ多くの自治体で取り組まれているが、感染者の早期発見と保護を進める上で極めて重要であると考え。こうした制度を創設してはどうか。</p>

順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
22	1. 当市の観光の考え方について	
24 番 渡 邊 隆	<p>(1) 当市を代表する観光イベントや史跡・施設や佐渡航路、加えて地の利をいかした滞在型観光の考え方を聞きたい。</p> <p>(2) 現在の部局編成の産業と観光を独立させ、例えば観光においては、民間の英知を活用してはどうか。</p>	
順位		
議席 氏名	質 問 事 項	
23	1. 災害対策について	
31 番 橋 爪 法 一	<p>(1) 7月の災害対策特別委員会で、10月末までの「大雪災害対応の検証報告」を待たずに予算措置をする必要があるものもあるのではないかと指摘した。その検討結果を聞きたい。</p> <p>(2) 豪雪時の災害救助法適用について、対象となる除雪範囲の拡大、一世帯当たり上限額、申請の簡素化を政府関係機関に働きかけるべきだと思うが、市長の見解を聞きたい。</p> <p>(3) 「昨冬のような大雪が今後もあり得る」という認識に立った時、対策強化をしていくポイントの一つは、除雪協力事業者の確保である。どこまで進んだか。</p> <p>2. 公の施設について</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画では「長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行う」としているが、計画では「長寿命化」に力点を置くべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 公の施設の今後の運営については、市民が積極的に関わることが重要と考えるが、市長の見解を聞きたい。</p>	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
24	<p>1. 雪対策に関して</p>
21 番 滝 沢 一 成	<p>(1) 市道に敷設されている消雪パイプについて、沿線住民の負担の程度がまちまちである。先に「市道認定した当時の決め事を基本としながら、他の自治体の事例を収集するなどの調査を行い、その維持管理の在り方等について検討する」との答弁があったが、その後どのような検討を行ったか。長年の取組の中で生じたことではあるが、平等性に鑑み、整理すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 令和3年大雪災害対応の検証として既に7月に中間報告をまとめ、10月に最終的な報告書としてまとめるとしている。中間報告を一読し、綿密に分析していることがうかがえ、これからの取組への決意がにじんでいると感じるところであるが、市長としても、昨冬の大雪を通して、我々の故郷豪雪都市上越の在り方に思いを致したと想像する。これから先語り継ぐべきレガシーは何か。</p> <p>2. 令和3年度標準学力検査の結果に関して</p> <p>(1) 本調査により測定できるのは学力の一部であり、教育活動の一側面であることに理解を求めているが、実際のところ、全国平均との偏差値比較で、小学校では各学年ともおおむね同程度あるいは上回るが、中学校では1年生から3年生に向かって、国語、数学、英語とも軒並み低下傾向を示し、3年生では全て下回り全国標準レベルに達していない。この結果をどう考えるか。</p> <p>(2) 中学校の成績において、国語では、読む力、調べる力、書く力に取り組む必要があるとしている。同様に数学では基礎・基本の定着、数量の関係への理解力など、英語では、2年生なら「話すこと」「書くこと」、3年生なら「読むこと」「書くこと」の領域が弱いなどの課題が示されているが、それらは学習するのに当たり前に必要な力であって、特筆して書かざるを得ないところに課題が内在していると思えるがどうか。</p> <p>(3) 今後取り組むこととして、学校での授業改善の推進、家庭学習の意欲、教育委員会の指導・支援、家庭での生活習慣の改善、子どもたちの前向きな気持ちの育みなどを挙げているが、これらは当たり前の取組であって、これまでも行ってきたことに思える。課題解決へカリキュラム・マネジメントを通じた学習指導の改善を行うなどとしているが、具体的な目標を設定し、勝れて戦略的に取り組んでいく必要があるのではないか。</p> <p>(4) 教育において、子どもたちの心身の育み、豊かな情操の育み、生きていく力の育みが大切なことは間違いないが、様々な教科の学力がつくことによって子どもたちの未来、生き方の選択肢が広がることも間違いないと考える。教育長の考えを訊きたい。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
25	<p>1. 上越市発展の5大ミスからの脱却について</p> <p>(1) 私は、近年の上越市の発展過程で、大きな5大ミスがあると見ているが、そうしたことから脱却をしない限り、今後の上越市の発展は厳しいと思う。</p> <p>5大ミスの一つ目は、14市町村の大合併問題。二つ目は、北陸新幹線のJR東とJR西との境界駅の機能放棄。三つ目は、上越共同火力発電所の本社機能の喪失。四つ目は、全国一の地球環境都市からの脱落。五つ目は、上越市発展ビジョンである「のびやかJプラン」の否定にあったと考えている。</p> <p>中でも14市町村合併は、飛び地となっている中郷区まで含めた不合理な合併で、合併を境に急激な人口減少も始まり、大合併は大失敗だったと断定する。こうした失敗の修正には、地域内分権型ブロック制(頸北・東頸など)を導入し、ブロックごとに副市長を置き、新しいガバナンス態勢を取るしかないと考えているが所見を聞きたい。</p>
9 番 宮 越 馨	<p>2. 市長の政策に対する基本的思考姿勢について</p> <p>(1) ふるさと納税について返礼品を活用しないという方針をなぜかたくなに堅持するのか。理屈とは別に、上越市の現状であるふるさと納税金が持ち出しの方が大きいとは、財政運営という観点からも理解できないが改めてその思考の真意を聞きたい。</p> <p>(2) 市は、私が提唱している全国初の子供年金制度導入に向けての「第3子以降のニーズ調査」について否定しているが、人口減少対策は困難であることから、可能性のある政策ならば何でもチャレンジすべきではないかと考えるが、その思考真意を聞きたい。</p> <p>3. 為政者のリーダー論について</p> <p>(1) 昨今のコロナ禍において、人口減少問題を含めて困難続きである。国の在り方はともかく、地方においても地球環境問題や農山漁村の消滅問題、まちの空洞化、経済社会の縮小化など全てに渡り危機的状況になっている。まさに有事とっていいだろう。</p> <p>こうした時こそ強いリーダーが求められているのは当然であると民意も当然のように示している。</p> <p>市長も残すところ少しの任期ではあるが、この際ご苦勞された市長職を務めあげるこのタイミングで、何かの教訓や示唆をいただけるものかと思うが、ここに市長自らのリーダー論についてどういう考えでいるかを聞きたい。</p> <p>ちなみに、私のリーダー論は、リーダーとは①先見性を持ち②高潔・コンプライアンスを守り③創造力・政策力を身に着け④決断力・実行力を持ち⑤危機管理能力・直観力に優れ⑥共感力を高め⑦慈愛心に満ち⑧責任感を持つ、を挙げるが、特に今社会においては過去にあったコンプライアンス違反、なかんずくパワハラなどは厳しく制裁を受けるものとなっている。</p>

令和3年第3回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

	<p>実は、職員に実施しているストレスチェックにおいて、高ストレス判定者が多いという現状を見て、そこにはパワハラなど何らかの原因が潜んでいるように見受けられる。職員は市政運営の原動力・要であるので常にリスペクトしなければならない。そこが欠けているのなら是非とも対応策を見つけねばならないと思うが、こうした現状をどう受け止めているかを聞きたい。</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------